

平成29年度 行政評価 施策カルテ

施策名	4 教育環境の充実
-----	-----------

施策主管課	学校管理課	総合計画記載頁	112ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために	政策名 (基本施策名)	9 信頼される学校教育を推進する	政策の達成目標 (基本施策目標)	信頼される学校教育が推進され、充溢した学校生活を送っています。
------	------------------------	----------------	------------------	---------------------	---------------------------------

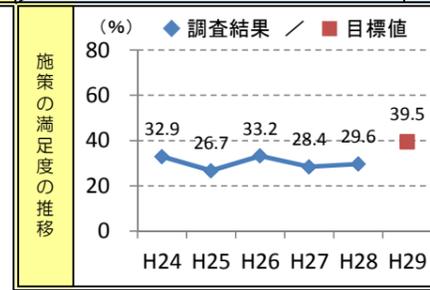
2 施策の取組状況

施策目標	児童生徒が、安全で快適な教育環境の中で学校生活を送っています。
------	---------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果 指標3	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価			
	指標1	耐震化率(学校校舎・体育館)	単年度目標値	85%	90%	95%	100%	100%			100%	A	調査結果	32.9%	26.7%	33.2%	28.4%	29.6%		/	/	/
現状値			73.2%	実績値	85.0%	89.7%	95.6%	98.4%	100.0%	目標値(H29)	100%								単年度の達成度			
目標値(H29)		100%	単年度の達成度	100.0%	99.7%	100.6%	98.4%	100.0%	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)										B			
指標2		現状値	単年度目標値	/	/	/	/	/	/	【参考】 中核市等との水準比較	市立小中学校の耐震化率(校舎・体育館)		中核市平均	74.02%	77.47%	81.66%	89.70%	91.92%	/			
			実績値	/	/	/	/	/	実績値				85.0%	89.7%	95.6%	98.4%	100.0%					
		目標値(H29)	単年度の達成度	/	/	/	/	/	中核市での本市の順位				27位/41市中	27位/41市中	20位/42市中	21位/43市中	1位/45市中					
	単年度目標値	/	/	/	/	/	/	中核市平均	/			/	/	/	/							
現状値	単年度目標値	/	/	/	/	/	/	実績値	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/				
	目標値(H29)	単年度の達成度	/	/	/	/	/	/	中核市での本市の順位	/	/	/	/	/	/	/	/	/				

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上 (C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況	
---------------------	--

施策を取り巻く環境等	<ul style="list-style-type: none"> 東京五輪関連工事や国体関連施設等の県内大規模工事の影響を受け、建設需要が増加しており、今後ますます建設資材・機材の調達や技能労働者の確保が厳しい状況が見込まれる。 学校施設が一斉に更新時期を迎えつつある中、国では長寿命化計画の策定を要請しており、社会環境や学習形態の変化、財政状況を踏まえた計画的な対応が求められている。 熊本地震(H28)での被災状況を踏まえ、非構造部材の耐震化の推進や避難所としての機能の充実・強化がより一層求められている。 	市民満足度	<ul style="list-style-type: none"> 教育環境の充実については、市立小中学校の耐震化事業を優先して取り組んでいるところであり、平成28年度末の耐震化率は、100.0%に達したことから、市民満足度は、前年度より向上したと考えられる。 	総合評価	83点
施策指標	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性の低い校舎、体育館等について、事業の優先化を図り、国の補正予算なども最大限活用し、耐震補強工事や建替え工事を実施したため、平成28年度末での構造体の耐震化率は、100.0%に達し、安全で快適な教育環境の整備に寄与した。 				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業※	事業の目的	事業内容		事業の進捗状況	H28事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	校舎・体育館耐震化事業	○★	学校建物の耐震性能の確保	・市内小中学校の児童生徒及び教職員 ・PTA, 地域住民等	耐震補強工事の設計・施工	計画どおり	263,866	H18		一条中移転改築事業, 富屋小体育館建替え事業及び国から対策を求められている天井等の落下防止策などの非構造部材の耐震化については, 当初の計画どおり整備が進捗しており, 今後については, 国から対策の目標年度が示されていない窓ガラスなどの非構造部材の耐震化について, 検討していく。
2	体育館・武道場整備事業	○★	体育館改築による耐震性能の確保及び武道場の全校整備	・市内小中学校の児童生徒及び教職員 ・PTA, 地域住民等	・体育館建替工事の設計・施工 ・武道場新築工事の設計・施工	計画どおり	376,343	—		一条中移転改築事業及び富屋小体育館建替工事に伴う体育館・武道場の整備については, 当初の計画どおり進捗しており, 今後は, 老朽化対策として, 劣化状況などを総合的に勘案しながら計画的に取り組んでいく。
3	校舎大規模改造事業		経年により発生する学校施設の損耗・機能低下に対する復旧措置及び建物の用途変更に伴う改修	・市内小中学校の児童生徒及び教職員 ・PTA, 地域住民等	大規模改造工事等の設計・施工	計画どおり	580,650	H12		喫緊の課題である学校施設老朽化対策の計画的な推進に向け, 老朽度の高い41校について, 平成29年度～30年度にコンクリートのコア抜き調査を実施し, 詳細な劣化状況の把握を行いながら, 施設の長寿命化を基本に整備順序などを検討していく。 併せて, 文部科学省が平成32年頃までの策定を求めている, 具体的な整備計画などを盛り込んだ「学校施設長寿命化計画」の策定が早期に行えるよう検討していく。
4	一条中学校改築事業	○★	敷地の狭隘・不整形の解消及び, 校舎の老朽化や耐震化に伴う移転改築	・一条中学校通学予定の生徒及び教職員 ・PTA, 地域住民等	一条中学校改築工事の設計・施工	計画どおり	933,520	H24		一条中学校改築事業については, 地域や隣接設置される県立の高等特別支援学校と連携, 調整を図りながら, 当初の計画どおりに供用開始することができた。 今後は, 旧一条中学校施設の解体事業が円滑に実施できるよう取り組んでいく。
5	教育用パソコン整備事業	○★	学校のICT機器(タブレット型パソコン等)の整備	市内小中学校の児童生徒及び教職員	教育用パソコン, 関連機器の更新・保守管理	計画どおり	319,477	H18		分かりやすく理解を深める授業や児童生徒による主体的な学習を展開できるよう, 引き続き, 既存のデジタルテレビなどのICT機器に加え, タブレット型パソコンや電子黒板の導入整備に取り組んでいく。
6	教育情報システム事業(再掲)	○★	学校のICT機器(教育用ネットワーク等)の整備と活用促進	市内小中学校の児童生徒及び教職員	・情報教育研修の実施 ・教育情報システムの運用 ・授業におけるICTの活用	計画どおり	319,282	H7		児童生徒の情報活用能力や情報モラルの育成に努めるとともに, 教職員のICT活用指導力の一層の向上を図るため, 引き続き, 教育用ネットワークの整備を実施するとともに, ICTを効果的に活用した授業の推進に取り組んでいく。
7	リフレッシュスクール事業		ゆとりと潤いのある学習環境の確保	・市内小中学校の児童生徒及び教職員 ・PTA, 地域住民等	・エアコンのリース・保守管理 ・トイレの洋式化 ・トイレのオゾン清掃	計画どおり	433,831	H20		ゆとりと潤いのある学習環境を確保するため, 普通教室に設置した空調設備機器の適正な維持管理を実施するとともに, トイレの洋式化については, 期間を定めて計画的に実施する。
8	施設改修事業		学校施設の安全性・機能性の確保	・市内小中学校の児童生徒及び教職員 ・PTA, 地域住民等	老朽, 劣化した学校施設の更新・改良	計画どおり	708,303	—		教育環境を充実する上で, 学校施設の安全性, 機能性の確保は必要不可欠であり, 学校施設の長寿命化の観点からも適時の対応が必要であるため, 引き続き, 効果的, 効率的な施設等の更新, 改良に取り組んでいく。
9	バリアフリー化事業		障がいのある児童生徒の安全確保	・市内小中学校の身体に障がいのある児童生徒 ・PTA, 地域住民等	多目的トイレ, 階段手摺, スロープの設置	計画どおり	16,667	H11		大規模な改修や改築に併せて, 宇都宮市やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり条例及びハートビル法に基づき, バリアフリー化の整備を進めていく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆長寿命化による学校施設の長期利用を見据え, 少人数指導などの学習形態の変化や学校施設を取り巻く環境の変化を踏まえた計画的な整備を行っていく必要があり, 特にトイレ環境については, できるだけ早期の洋式化に向けて取り組んでいく必要がある。 ◆災害時に児童生徒等の安全を確保するとともに, 避難所として必要な機能を確保するため, 窓ガラスの飛散防止対策や避難時の生活環境に配慮した施設整備に取り組んでいく必要がある。 ◆学校ICT化の推進については, 児童生徒の情報活用能力や情報モラルの育成, さらにICT機器を活用し, 充実した授業ができる環境を整備する必要がある。 	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉 ◆学校施設の安全性確保や老朽化への対応, 快適な学習環境の確保がますます求められており, 非構造部材の耐震化, 校舎大規模改修, 体育館改築, リフレッシュスクールなどの事業について, 計画的に推進し, 教育環境の充実を図っていく。</p> <p>〈主要事業〉 ◆校舎・体育館耐震化事業 災害発生時の児童・生徒の安全確保や災害時の避難所利用などを踏まえ, 窓ガラスなどの非構造部材の耐震化に取り組んでいく。 ◆体育館・武道場整備事業 老朽化が進む体育館について, 地域開放や避難所として備えるべき機能も踏まえながら, 計画的に大規模改修や建て替えを推進していく。 ◆一条中学校改築事業 旧一条中学校校舎については, 耐震化されておらず老朽化も進んでいる状況にあることから, 早期の円滑な解体に向け取り組んでいく。 ◆教育用パソコン整備事業 これまでに整備したパソコンや学校間イントラネットなどを最大限に活用するとともに, タブレット型パソコンを中心とした新たなICT学習環境づくりに取り組むなど, 児童生徒の情報活用能力や教員の授業力の向上に努めていく。</p> <p>〈その他個別事業〉 ◆リフレッシュスクール事業 ゆとりと潤いのある快適な学習環境の確保を図るため, 校舎トイレの洋式化を計画的に推進していくとともに, 体育館などのトイレ洋式化についても検討する。</p>